

ビワ生育情報

千葉県
平成27年5月号

平成27年4月の気象

平成27年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第2及び第3半旬で平年を下回ったが、第1、第4～第6半旬では平年に比べ1.0～1.6℃上回り、高く推移した。月平均気温は13.8℃で、平年並みで、前年より0.5℃高かった。

降水量は、第1～第4半旬で平年を上回ったが、第5及び第6半旬では平年を下回り、第6半旬では降雨がなかった。月合計は167mmで、平年より2mm(1%)少なく、前年より1mm多かった。

日照時間は、第1～第3半旬で平年を下回ったが、第4～第6半旬では平年並みか上回り、月合計は130時間で、平年より36時間(22%)、前年より61時間(32%)少なかった。

表1 平成27年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	13.1	11.7	13.1	30	28	64	12	25	28
2	9.2	13.0	11.9	40	27	14	12	27	45
3	12.0	13.4	11.9	59	25	15	15	27	37
4	15.5	14.1	13.2	31	29	9	28	28	17
5	15.9	14.9	14.0	7	38	25	32	29	32
6	17.2	15.6	15.8	0	22	41	32	30	32
平均合計	13.8	13.8	13.3	167	169	166	130	166	191

6月の作業

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月中旬には終了する。夏肥(礼肥)は、収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために、適期に施用する。台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

収 穫

6月は露地ビワの収穫最盛期に当たる。市場において他の果実との競合が激しくなっているので、品質の良い完熟果を出荷して、市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素5kg、りん酸4kg、加里4kg、耕土の深い園でそれぞれ5kg、3kg、3kgを施用する。

果実の発育

5月1日現在の果径を表2に示した。横径は「楠」が3.10cm、「大房」及び「田中」は3地区

の平均でみるとそれぞれ3.32cm、3.17cmであった。本年の横径は、3品種共に平年より7～20%、前年より13～33%大きかった。

縦径は「楠」が3.09cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ3.34cm、3.51cmであった。本年の縦径は、「楠」は平年並みで、「大房」及び「田中」は平年より13～22%大きく、前年と比較すると、3品種共に4～32%大きかった。

果形指数は「楠」が1.00、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.00、0.91で、「楠」及び「大房」は平年より大きく、「田中」は平年よりやや小さかった。果形を平年と比較すると、「楠」及び「大房」は横長、「田中」は縦長の傾向である。しかし、「大房」及び「田中」は地域差がみられた。

本年は3品種共に、開花が早く、更に3～4月が好天候だったことで、5月1日時点の果実の発育は平年より進んでいる。気象庁によると、5月中は気温が高く推移することが予想されており、急速に生育が進むことも考えられる。十分に肥大する前に着色し始める可能性もあるので、収穫適期を逃さないように注意が必要である。

本年は平年に比べ、着花房率が高く、寒害の被害は少ないので、着果量が多い予想であり、果実も大玉傾向である。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年よりやや少なく、果実の被害程度も平年よりやや少ない。果樹カメムシ類は、越冬量が南房総市ほか県南地域で平年より少ないが、今後の発生予察情報を参考にし、カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	3.10	2.90	2.73	3.09	3.09	2.96	1.00	0.94	0.92
	青 木	3.33	2.98	2.61	3.41	3.05	2.72	0.98	0.98	0.96
	大 房	3.26	2.96	2.78	3.38	3.01	2.91	0.97	0.98	0.96
	暖地園研	3.38	2.75	2.62	3.23	2.87	2.73	1.05	0.96	0.96
	平 均	3.32	2.88	2.67	3.34	2.97	2.79	1.00	0.97	0.96
田 中	青 木	3.04	2.70	2.25	3.23	2.98	2.59	0.94	0.91	0.87
	南 無 谷	3.34	2.58	2.22	3.81	2.84	2.48	0.88	0.91	0.90
	暖地園研	3.13	2.62	2.70	3.48	2.85	2.91	0.90	0.92	0.93
	平 均	3.17	2.64	2.39	3.51	2.88	2.66	0.91	0.92	0.90

果形指数：横径／縦径

平年：昭和61年～平成26年の29年間の平均。南無谷は平成27年から圃場を変更し、異なる圃場の平成10年～平成26年の16年間の平均。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】
 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>